*本リリースは 2026 年 11 月 18 日にシンガポールにて発表されたリリースの抄訳です。

NEWS RELEASE

Visa、「Agentic Ready」プログラムを拡大し、アジア太平洋地域において信頼できる AI コマースの普及を支援

- 「Agentic Ready」プログラムの第二フェーズとして、Visa はアジア太平洋地域の幅広いパートナーと連携し、AI エージェントが実施する取引へのアクセプタンス対応を強化

シンガポール、2026 年 11 月 18 日 – デジタル決済の世界的リーダーである Visa は本日、アジア太平洋地域における「Agentic Ready」プログラムの拡大を発表しました。第二フェーズではアクセプタンスに焦点を当て、アクワイアラ、決済サービスプロバイダー、決済ゲートウェイ、一部の加盟店と連携し、AI エージェントが実施する Visa 取引への対応に向けた準備を進めます。本プログラムは 50 社超のパートナーとともに開始し、2027 年を通じてさらに多くのパートナーが参加する予定です。

Visa は 2026 年 4 月、アジア太平洋地域で「Agentic Ready」プログラムの第一フェーズを開始し、Visa の認証情報を利用した管理された本番相当の環境において、イシュアの対応準備に焦点を当ててきました。プログラム開始以来、アジア太平洋地域の 10 の市場で 100 社を超えるイシュアが参加し、エコシステム全体でエージェンティック・コマースへの対応準備が進んでいます。

パーソナル AI アシスタントの機能が高度化するにつれ、AI は商品の推奨にとどまらず、ショッピングカートの作成や消費者に代わって決済まで行うようになっています。これにより、加盟店にとっては、信頼できる AI エージェントをどのように識別するか、アクセス可能な範囲をどのように判断し、購入手続き、決済、購入後のサービスまでどのように対応するかといった実務上の課題が生じています。Visa は、デジタル決済、トークン化、認証、リスク管理、ネットワーク制御における知見と、加盟店、決済事業者、テクノロジーパートナーが持つ能力や強みを組み合わせることで、こうした課題への対応を支援しています。

Visa アジア太平洋地域 プロダクト＆ソリューション責任者の T.R.ラマチャンドランは次のように述べています。「エージェンティック・コマースが本格的に普及するためには、加盟店とその決済事業者が、顧客体験をコントロールしながら、AI による取引が安全かつ確実に対応できることが不可欠です。AI エージェントが消費者に代わって商品の購入や決済を行う機会が増える中、加盟店と決済事業者には、こうした新たな取引への対応準備を把握し、強化するための明確な方法が必要です。『Agentic Ready』は、Visa と急速に変化するコマースのエコシステムをつなぎ、消費者が期待する信頼性と安全性を維持しながら、加盟店が次世代のコマースに備えることを支援します。」

アクセプタンス向け「Agentic Ready」

アクセプタンス・パートナーは Visa と連携し、既存システムの評価、実環境における AI エージェントが実施する Visa 取引の検証、課題の特定を行います。検証では、信頼できる AI エージェントをどのように識別し、AI エージェントによる商品検索、購入手続き、購入後のやり取りにどのように対

応するかを検証します。さらに、トークン化された認証情報、認証、取引処理などの決済機能についても確認します。これにより、各市場の特性や決済エコシステム、加盟店環境それぞれのニーズをプログラムに反映します。

アクセプタンス・パートナーには、日本を含む世界およびアジア太平洋地域の企業が名を連ねています*。参加企業には、2C2P by Antom, Adyen, Airwallex, Allinpay Merchant Services, ALTEKGLOBAL by VNPAY, ASB Bank, AsiaPay, AXS, Bank of China (Hong Kong), CAKE DIGITAL BANK, Checkout.com, Cherri Tech, Commonwealth Bank of Australia, 株式会社クレディセゾン, Cuscal Limited, DBS Bank, DCS, dLocal, Eximbay, Fat Zebra, Fiserv, FOMO Pay, GMO イプシロン株式会社, GMO ペイメントゲートウェイ株式会社, Hang Seng Bank, ICBC (Asia), 株式会社インフキュリオン, Kasikorn Global Payment Co., Ltd., KG Inicis, Maybank, 三菱 UFJ ニコス株式会社, 株式会社みずほ銀行, National Australia Bank, NETS, Nuvei, OCBC, OEN Tech, Pine Labs, 楽天カード株式会社, Razorpay, Retail Payment Solutions as a Coles Group company, SB ペイメントサービス株式会社, Stripe, 三井住友カード株式会社, Toss Payments, UOB, UQPay, Windcave, Wpay, Xendit, YeahPay, YeePay を含みます。

*社名はアルファベット順で記載

新たなエージェンティック・コマース・イネーブラーとともに、エコシステム全体の対応準備を推進

Visa は、アクセプタンス・プログラムと並行して、アジア太平洋地域の CardInfoLink、Clink、Eats365、FluxA、Manif.AI、Obenan、OEN Tech、Prava、SetSail、SHOPLINE、Shoplazza と連携し、実際のコマース環境において、AI エージェントがどのように加盟店の商品を見つけ、ショッピングカートを作成し、購入手続きや決済につなげるのかを検証しています。

エージェンティック・コマースに向けて Visa のケイパビリティを集結

「Agentic Ready」プログラムは、安全なエージェンティック・コマース体験を大規模に実現するための Visa の取り組みやソリューション群である「Visa Intelligent Commerce」を基盤としています。エージェンティック・コマースが進化する中、本プログラムは、消費者や企業がデジタル決済に期待する信頼性、透明性、コントロールを提供できるよう、エコシステムの対応準備を支援します。

Visa は、新たなコマースの形態を支える信頼性、セキュリティ、グローバルなテクノロジーを長年にわたり提供してきた経験を活かし、今回拡大したプログラムを通じて、パートナーが既存の決済インフラを活用しながら、新たな体験を共通の方法で検証できるようにします。これにより、パートナーはコマース体験に信頼性とインテリジェンスをより容易に組み込むことができます。

拡大したプログラムの一環として、「Visa Acceptance Platform」は、さまざまなチャネルでの決済の受け入れ、認証情報の管理、不正防止、紛争解決など、決済ライフサイクル全体にわたるケイパビリティを提供します。また、「Intelligent Commerce Connect」は、ネットワーク、決済スキーム、コ

マースプラットフォーム、AI エージェントを横断したエージェンティック・コマースを実現します。

「Agentic Ready」プログラムへの参加、またはエージェンティック・コマースに関して Visa との連携に関心のある企業・団体は、Visa の担当者までお問い合わせください。

###

【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、事業者、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、Visa.com（英語サイト）または www.visa.co.jp（日本語サイト）をご覧ください。